



# さが

第 八 九 号

平成 二 八 年

西 曆 二 〇 一 六 年

春 彼 岸 三 月 号

曹 洞 宗 東 運 寺

京 都 市 伏 見 区 淀 新 町 六 一 八 一

TEL 〇 七 五 一 六 三 一 一 二 二 七 二

FAX 六 三 一 一 五 七 二 五

E-MAIL [sanga@tounji.net](mailto:sanga@tounji.net)



先月初めの、清原和博元選手の覚醒剤による逮捕は大きなニュースとなりました。

違法な薬物に手を染めてしまった人間は、たとえ薬と縁が切れても、もうそれ以前の体に戻ることはできないと聞きます。「完全に止められた」ではなく、「今日もしなかった、を繰り返す」しかないのだそうです。清原容疑者にしても例外ではありません。人間がかんたんに悪に落ち込んでしまう怖さを感じます。

しかし、それをきちんと実現して復帰する人もいます。私たち人間には、善から悪へ墜ちる隙間と、悪から善にもどる力との、両方があるのですね。

お釈迦さまは、あらゆるものごとは変化し続けるものであり、おなじところにとどまらないということに気づかれました。

それは、私たちも「変化し続けるもの」であること、たとえば心はつねに落ち着かず、体は老いて病にかかることも意味しています。

しかし、逆に考えれば、私たちが「変化し続けるもの」であるなら、破滅へ至る生き方から、善き生き方へと変わっていきけるはずです。どんな過去を背負っていても、悪を去らせ、善を起こすことは可能なのです。

その意味では、お釈迦さまの教えは、たとえば今の不幸は運命であり、初めから決まっていって変えることはできない、という宿命論ではありません。私たちは、毎日の心持ちと努力によって気をつけて過ごし、未来を拓いていきけるのです。

# 護持会費のお願い

昨年より、「通い」にハンコを押す形から、領収書をお渡しする形に変わりました。

護持会会員のみなさまには、このお便りに「会費のお願い」を同封しております。下段を切り取り、お名前や金額をご記入のうえ、ご納付くださいますようお願い申し上げます。

また、未納年度のある方や、先々の分までお納め下さっている方には、「〇〇年度まで頂戴している」旨を記入しております。

ご不明な点がございましたら、遠慮なくお寺までお問い合わせください。



# 年回法事について

今年が年回に当たっているお宅には、お正月のお便りにご案内を同封しておりましたので、あらためてご確認をお願いいたします。

なお、法事の日程は、土日や祝日の午前中をご希望なさる方が多く、とても混み合います。

今年も年末まで、すでに予定が入っている日が続いてまいります。お休みの日に法事を予定される方は、なるべく早いうちにご連絡くださいますよう、重ねてお願い申し上げます。

# 春のお彼岸法要は

いつものように、二四日午後一時より行われます。

当日は他のお寺様でもお彼岸法要があり、車の混雑が予想されます。なるべく公共交通機関をご利用くださいませ。



↑ ホームページこちらからも

東運寺ホームページは→

京都 東運寺

検索